

令和元年度 岩城中学校 学校関係者評価集計表

結果 : 4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない

評定 : A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

項目	評価指標	評価資料	アンケート結果(人)					評定	○(自己)評価の分析・考察・◎改善策	学校関係者評価委員からの意見
			4	3	2	1	無			
教育目標	「確かな学力の定着と強くやさしい心の育成」の達成に向けて、具体的に努力している。	教職員	4	5	0	0	0	A	○ 学校の教育目標達成のための具体的な取組が、保護者や地域住民に理解されている。	全体的な意見として、学校評価が良すぎる。もっと厳しい目で見ると課題が見えやすくなってくるのではないかと。
		生徒								
		保護者	4	29	4	0	0			
		地域住民	6	1	0	0	2			
学力・学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	6	3	0	0	0	A	○ 生徒・保護者ともに、学力向上に向け努力しており、保護者の否定的な意見は昨年に比べて少ない。 ○ i プリによる取組が評価されている。	日記の書かせ方、スピーチでの発表の仕方を見直す。原稿を見ながらの発表ではなく、覚えて自分の言葉で相手に伝えることが大事である。読書の機会が少なくなっている。読書習慣を付ける。保護者と話す時間がないのではないかと。会話の機会を作る。大人との触れ合いの場を作る。
		生徒	27	19	0	0	0			
		保護者	6	25	3	0	3			
		地域住民	4	4	0	0	1			
	学習習慣・学習態度(家庭学習も含む)の育成に努めている。	教職員	2	7	0	0	0	A	○ 概ね良好だが、保護者と生徒の間で意識に差がある。 ◎ 個別の補充学習を充実させるとともに、家庭と連携しながら個に応じて家庭学習の方法等について助言していく。 i プリによる取組を工夫継続し、家庭学習の充実につなげたい。	
		生徒	26	15	5	0	0			
		保護者	4	23	8	2	0			
		地域住民								
	生徒は、発表の仕方や表現力が身に付いている。	教職員	0	7	2	0	0	A	○ 昨年度の評価はB 生徒の評価が昨年よりかなり高い。防災学習で、自分の意見を発言する機会が多くなったからだと思う。教師・保護者の評価には、「2」も見られ、本校の課題の一つとして引き続き計画的に取り組んでいる。 ◎ 対話的な学習を取り入れた授業改善を進めていく。定期テストに読解力・表現力を問う記述式問題を設定し変容を観察していく。	
		生徒	32	13	1	0	0			
		保護者	8	18	10	1	0			
		地域住民								
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	5	4	0	0	0	A	◎ 継続して新学習指導要領の趣旨に沿った指導や評価を研究していく。 ◎ 教員も地域の歴史や文化を積極的に学ぶ必要がある。	
		生徒	39	6	1	0	0			
		保護者	10	20	5	0	2			
		地域住民	8	0	1	0	0			
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	4	3	2	0	0	A	○ 今年度は防災教育で地域と連携した点で教職員、生徒の評価が高くなっているが、保護者、地域住民は十分とは感じていない。 ◎ 引き続き地域の特色を生かした学習活動を工夫していく必要がある。そのためにも地域の人材を積極的に活用していく。	
		生徒	41	5	0	0	0			
		保護者	13	18	5	0	1			
		地域住民	3	5	1	0	0			
心の教育	望ましい人間関係づくりに努めている。	教職員	3	6	0	0	0	A	○ 道徳、授業、学校行事、部活動等を通して、教職員と生徒、生徒相互の望ましい人間関係づくりに努めている。その成果が現れている。 ◎ 「ふれあい学習会」や「人権劇」などの取組を今後も継続していきたい。	
		生徒	41	5	0	0	0			
		保護者	8	20	6	0	3			
		地域住民								
	生徒が命の大切さを実感できる教育の充実に取り組んでいる。	教職員	3	6	0	0	0	A		
		生徒	44	2	0	0	0			
		保護者								
		地域住民								
	人権・同和教育年間指導計画を立案し、実践している。	教職員	3	6	0	0	0	A		
		生徒								
		保護者	17	17	1	0	2			
		地域住民	5	3	0	0	1			
生徒はJRC活動や積善運動に積極的に取り組んでいる。	教職員	2	7	0	0	0	A	○ 教職員・生徒ともに高い意識をもって取り組んでいる。		
	生徒	31	15	0	0	0				
	保護者									
	地域住民									
学校体育	体育の時間や走楽タイムなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	8	1	0	0	0	A	○ 生徒・教職員ともに体力づくりに取り組む意識が高い。保護者も概ね肯定的である。 ○ 生徒・教職員ともに部活動に取り組む意識が高い。保護者も概ね肯定的である。 ◎ 保護者に引き続き、部活動の方針や年間の予定等、各部の保護者会等で相互理解に努める。	
		生徒	37	8	1	0	0			
		保護者	21	13	1	1	1			
		地域住民								
	生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる。	教職員	9	0	0	0	0	A		
		生徒	37	8	1	0	0			
		保護者	21	13	1	1	1			
		地域住民								

結果 : 4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない
 評定 : A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

項目	評価指標	評価資料	アンケート結果(人)					評定	○(自己)評価の分析・考察・◎改善策	学校関係者評価委員からの意見
			4	3	2	1	無			
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし充実している。	教職員	4	5	0	0	0	A	○ 運動会や文化祭など生徒の活動を評価する意見が多かった。生徒も充実感・満足感を感じている。	
		生徒	37	8	1	0	0			
		保護者	17	18	1	0	1			
		地域住民								
生徒指導	生徒一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応に努めている。	教職員	5	4	0	0	0	A	○ 生徒一人一人をよく見てくれているという意見があった。 ◎ 少ないながらも保護者の中には否定的な意見があるので、これらの意見も大切に、生徒の様子にしっかりと目を向け、早期発見・早期対応を心掛けたい。	子ども同士のもめ事に先生や親が入りすぎでないか。子ども同士が話し合う場も大切である。
		生徒	30	12	2	2	0			
		保護者	5	23	4	1	4			
		地域住民	5	2	0	0	2			
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成に努めている。	教職員	4	5	0	0	0	A	○ あいさつについては、地域の方から、よくできているが、全員ができているとは言えないとの声をいただいている。 ◎ あいさつの重要性を教えるとともに、どんなときでも自然にあいさつができるよう指導していきたい。	
		生徒	17	24	4	1	0			
		保護者	10	16	10	1	0			
		地域住民								
	進んで気持ちのよいあいさつができている。	教職員	3	4	2	0	0	A		
		生徒	42	3	1	0	0			
		保護者	14	17	3	2	1			
		地域住民	4	5	0	0	0			
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	2	5	2	0	0	B	○ 昨年度の評価もB 引き続き、学級PTAや個別懇談会などを通じて、家庭に対しての情報発信を積極的にする。家庭と連携しながら進路について話し合う機会を設ける。 今年度より職場体験学習を5日間実施したことで、教職員と生徒の意識は昨年度より向上している。 ◎ 今後も地域の人材の活用を積極的に行い、キャリア教育を充実させていく必要がある。	
		生徒	32	8	3	3	0			
		保護者	5	20	8	3	1			
		地域住民								
学校保健安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導の充実を努めている。	教職員	6	3	0	0	0	A	○ 防災教育に学校、家庭、地域が連携して取り組んできた成果がはっきりと出ている。今後も継続していく。	
		生徒	45	1	0	0	0			
		保護者	17	18	1	1	0			
		地域住民	6	3	0	0	0			
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	0	8	1	0	0	B	○ 昨年度の評価もB わからないと回答している保護者が多い。学級PTAなどの機会をとらえて啓発していく必要がある。 ◎ 配慮を要する生徒への対応、ユニバーサルデザインを考慮した授業など特別支援教育の研修を充実させていく。	保育所の子どもの多くが、目からの情報は入るが、耳からの情報が入りにくい。名前を呼ばれても返事ができない子どもが多くなっている。
		生徒								
		保護者	3	16	6	1	11			
		地域住民								
保護者・地域との連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	3	6	0	0	0	A	◎ 学校からの連絡や情報発信を密にし、信頼関係を高めていく。 ○ 概ねよい評価であった。	保護者の自由記述を見ていると、学校に頼りすぎである。「個人のしつけは家庭」「集団のしつけは学校」ではないか。
		生徒								
		保護者	9	16	7	1	4			
		地域住民								
	「学校だより」や「ホームページ」等の内容は適切である。	教職員	8	1	0	0	0	A		
		生徒								
		保護者	13	19	5	0	0			
		地域住民	4	4	0	0	1			
施設設備	校舎内外の美化に努めている。	教職員	2	6	1	0	0	A	○ 概ねよい評価であった。	
		生徒	42	4	0	0	0			
		保護者	13	22	0	0	2			
		地域住民	5	3	0	0	1			